平成20、21年度
中期目標の達成状況報告書

平 成 ２２ 年 ６ 月
富 山 大 学

目　　次

Ⅰ．中期目標の達成状況

１　教育に関する目標の達成状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

２　研究に関する目標の達成状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

３　社会との連携、国際交流等に関する目標の達成状況・・・・・・・・・11

Ⅱ．「改善を要する点」についての改善状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

Ⅰ．中期目標の達成状況

１ 教育に関する目標の達成状況

中項目	１　教育の成果に関する目標

小項目番号	小項目1(1)	小項目	【教養・学部・大学院教育等の連携】教養・学部・大学院教育等の密接な連携を図る。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目２(2)	小項目	【教養教育】幅広く深い教養及び総合的な判断力を培い、豊かな人間性を涵養するとともに、専門教育との有機的連携を図る。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目３(3)	小項目	【学部教育】専門知識、基本的技能、思考力、倫理性、感性、自立的学習能力等を有する優れた社会人、職業人を育成する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目４(4)	小項目	【大学院教育】幅広い知識に基づく高い専門性を培い、高度専門職業人あるいは教育研究者として、学術研究の進歩や社会に貢献する人材を育成する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

中項目	2　教育内容等に関する目標

小項目番号	小項目1(5)	小項目	【アドミッション・ポリシー(学士課程)】必要な基礎学力を有し、学習意欲が高く、かつ各学部の教育目的に合った学生を受け入れるために、各学部のアドミッション・ポリシーを明確にし、それに相応しい多様な選抜方法を推進する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画1-1 (5－1)	大学全体のアドミッション・ポリシーを確立し、それに応じて各学部のアドミッション・ポリシーを見直す。		平成21年3月までに、大学全体のアドミッション・ポリシーを確立して、それに応じて各学部においてアドミッション・ポリシーを見直し、平成22年度版「入学者選抜要項」、「学生募集要項」及び「2010　富山大学案内」に掲載するとともに富山大学Webサイト(入試情報)で公表した。(別添資料1、P1参照)

小項目番号	小項目2(6)	小項目	【アドミッション・ポリシー(大学院課程)】知的好奇心が旺盛で、向上心の高く、かつ、各研究科等の教育目的に合った学生を受け入れるために、各研究科等のアドミッション・ポリシーを明確にし、社会人と留学生の積極的な受入れを含めた多様な選抜方法を推進する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目3(7)	小項目	【教育課程(学士課程)】学生の多様化と社会的ニーズの変化等に対応し、幅広い知識、能力を涵養する教養教育と実効のある専門教育の柔軟な教育課程を編成する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目4(8)	小項目	【教育課程(大学院課程)】学問領域の拡大と学際化及び社会的ニーズの変化等に対応できる人材を育成するための教育課程を編成する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目5(9)	小項目	【教育方法(学士課程)】学生の学習意欲を高め、目的意識を明確にさせ、能動的勉学のできる教育方法を推進する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目6(10)	小項目	【教育方法(大学院課程)】個々の学生の能力に合い、知的好奇心を高める教育方法を推進する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目7(11)	小項目	【成績評価】大学として卒業者の質の保証をするために、客観的で適切な成績評価を実施する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

中項目	3　教育の実施体制等に関する目標

小項目番号	小項目1(12)	小項目	【教養教育】質の高い教養教育とそのための責任ある実施体制を整える。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画1-2 (12－2)	教養教育の企画・立案・評価を担当し、実施の指揮にあたる組織の充実を図る。		平成20年度:「本学の教育全般に関し全学的な調整」と「大学教育における体系的な教育課程の編成及び大学教育の推進」のために高等教育機構を設置した。併せてその下に「全学の共通教育(教養教育科目等の共通で行うべき教育)の実施体制の確立」を業務とする共通教育センターを設置し、共通教育の一元化に向けカリキュラムや実施組織について検討した。 平成21年度:高等教育機構会議の下に時限的に共通教育検討専門委員会を設置し、上記の検討結果を検証して、平成24年度を目処に一元化に取り組むこととし、芸術文化学部で上記検討結果を踏まえ先行して平成22年度に新カリキュラムに移行するのに併せて、3キャンパスの教員が相互に協力して教養教育科目を充実させる体制を整備した(別添資料2、P2参照)。更に教育担当理事の下に年度内に集中的に作業すべく教養教育改革室を設けて、共通教育の一元化のための準備の一環として、現行のカリキュラムと実施体制の検証に取り組み、平成22年度に必要な新たな検討体制を構想した。

小項目番号	小項目2(13)	小項目	【教養教育・学部教育】教養教育と学部教育の在り方を総合的に検討する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目3(14)	小項目	【専門教育・大学院教育】時代や社会の要請に応える人材を育成し、教育研究の高度化に対応する学部、大学院の教育・研究組織を構築する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目4(15)	小項目	【FD】教員の教授能力を高め、教育の内容と水準の向上を図る。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目５(16)	小項目	【教育環境】教育目標が実現できるように教育環境を整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目６(17)	小項目	【教育評価】教育の実施体制について、評価・検証を行い、改善を図る。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

中項目	4 学生への支援に関する目標

小項目番号	小項目1(18)	小項目	【学習支援】学生の現状とニーズを的確に把握し、学生の視点に配慮した学習指導など、入学から卒業までの丁寧な学習支援体制を構築する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目2(19)	小項目	【生活支援】充実したキャンパスライフのため、学生のニーズに応える学生相談・生活支援体制の整備を図る。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画2-3 (19－3)	メンタルヘルスケア体制の充実を図る。		全学的な学生相談・学生支援体制をさらに充実させるため、平成21年度に学生支援センターのトータルコミュニケーション支援室をアクセシビリティ・コミュニケーション支援室に変更し、その下に従来の発達障害学生を支援するトータルコミュニケーション部門と、新たに身体障害学生を支援する身体障害学生支援部門を設け、障害をもつ学生の修学支援体制を整備した。(別添資料3－1、P3参照) また、学生の自殺が相次いだことを受け、平成21年度に「富山大学自殺防止対策室」を設置し、自殺防止に関する教職員へのFDやリーフレットの作成・配布を行った。さらに平成22年度から、各キャンパスに「学生なんでも相談窓口」を設け、関係教職員や関係機関との連携・調整を行う学生相談業務コーディネーターを配置することとした。(別添資料3－2、P3参照)
計画2-4 (19－4)	学生の課外活動等の環境整備の充実を図る。		学生の課外活動等の環境整備の更なる充実を図るため、授業料収入額の1%程度(H20年度5,000万円、H21年度 4,000 万円)を「目に見える学生支援経費」として確保し、大学の公認サークル団体の物品や遠征費等の援助のほか、大学祭や学生が企画した魅力的・創造的なプロジェクト事業等へ積極的に援助を行った。加えて、平成21年度は中期計画の実現を推進するための経費として1,600万円を措置し、多目的パネルや印刷機等を整備した。(別添資料4－1、P4参照) また、環境整備の充実として、3キャンパス大学食堂の机、イスの入れ替えを行った。さらに平成20年度に解散した「富山大学五福キャンパス学生健康保険組合」からの寄附金により、五福キャンパスの大学食堂にエアコンを設置した。(別添資料4－2、P4参照)

小項目番号	小項目3(20)	小項目	【社会人学生・外国人留学生】社会人学生、外国人留学生の現状に配慮した学習相談支援機能を充実する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目4(21)	小項目	【就職・進路支援】学生の就職指導・支援等の充実を図るとともに、就職指導体制の整備を図る。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画4-1 (21－1)	キャリア教育の充実を図り、就職指導体制を整備する。		本学ではキャリアサポートセンターにおいて、これまでも就職ガイダンスやビジネスマナー講座を開設していたが、３キャンパスに分かれていることによる距離的あるいは時間的に制約のあった学生に配慮し、各キャンパスでビジネスマナー講座を開設するとともに五福キャンパスでは文系及び理系学部生向けの高岡キャンパスでは芸術文化学部生向けの就職ガイダンスをそれぞれ開催し、これまで参加者が少なかった理系学部生の参加の増加を得た。また、就職に対する意識の向上や便宜を図るため業界・企業研究会では開催時間を、学内合同企業説明会では授業期間中の休業日の開催に変更し、多くの学生の参加を得た。（別添資料５－１、P５参照） さらに、自分自身の将来のキャリアを深めていくことを目的として「富大流人生設計ノート」を作成し、新入生全員に配布することとした。（別添資料５－２、P５参照）
計画4-2 (21－2)	実社会との連携(インターンシップ等)を拡充し、職業観・勤労観の育成を図る。		インターンシップへの参加が早期離職の歯止め効果となることが卒業生のアンケート調査の結果で明らかとなったことから、職場体験を軸としたキャリア支援「富大流人生設計支援プログラム」を立案し、平成20年度の学生支援GPに選定された。初年度には、プログラムの実施に際してフォーラムを企画開催し、教育関係機関及び地域社会への周知と連携協力を呼びかけた。 これらの取り組みがインターンシップ参加者の増加への相乗効果に繋がり、平成21年度参加者数は、過去最高となった。なお、プログラムの試行を４社の協力を受けて11人の学生が実施し、併せて「14歳の挑戦」に参加する中学生の指導サポーターの養成に取り組んだ。また、翌年度の本格稼動に向けてプロモーションビデオを製作し、県下の協力機関に配布し、広報とニーズ調査を行った。（別添資料６、P６参照） さらに、低学年次で実施している短期職場体験の受入先を製造業の業種で開拓し参加者増加に繋げた。

2 研究に関する目標の達成状況

中項目	1　研究水準及び研究の成果等に関する目標

小項目番号	小項目1(22)	小項目	【研究の方向性】本学が関わるすべての領域において、基礎研究を持続的に推進するとともに、我国社会の高度化に資する研究を行う。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目2(23)	小項目	【重点的に取り組む領域】医薬理工学及び伝統医薬学領域を中心として、国際社会をリードする特色ある先端研究を行う。また、環日本海や北陸地域に根ざした研究分野を拡充する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目3(24)	小項目	【研究成果の還元】地域や産業界との連携を深めながら、社会の要請に応え得る研究活動を展開し、研究成果を広く還元する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

中項目	2 研究実施体制等の整備に関する目標

小項目番号	小項目1(25)	小項目	【研究環境の整備】研究者の創造性と本学の特色が発揮される研究環境を整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目2(26)	小項目	【研究実施体制】社会の要請や学術研究の動向などに応じて、研究組織の柔軟な編成や学内外連携体制を整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目3(27)	小項目	【外部資金及び共同研究等】外部資金獲得や学外との共同研究を推進するための体制を整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目4(28)	小項目	【知的財産】学内の知的財産の管理・活用及び特許等の取得を推進するための体制を整備する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画4-1 (28－1)	知的財産の取得と管理・活用に関する体制を整備する。		平成20年7月に、地域共同研究センター、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー、知的財産本部(富山大学TLOを含む)を統合し、地域連携推進機構産学連携部門として再編を行った。これにより、従来は分化していた産学官連携の機能を集約一元化し、大学知財発掘・権利化・管理からシーズ・ニーズマッチングによる共同研究、ライセンシング等の技術移転までの多面的な産学官連携支援業務を、ワンストップサービス化した組織の整備を図った。(別添資料7－1、P7参照) また、平成20年度から文部科学省の産学官連携戦略展開事業「戦略展開プログラム(特色ある優れた産学官連携活動の推進)」として、関連公的機関と連携した知財戦略ネットワークを構築し伝統技能・デザイン・マーチャンダイジングの融合による付加価値の高い製品開発を促進すると共に、伝統技能の科学技術に基くデータベース化などにより技能に埋もれた知財の発掘・活用，技能の伝承を促進することを目的として事業を実施した。(別添資料7－2、P7参照)

小項目番号	小項目５(29)	小項目	【研究水準・成果の検証】研究活動の状況や問題点を把握し、質の向上及び改善を図る。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

3 社会との連携、国際交流等に関する目標の達成状況

中項目	1　社会との連携、国際交流等に関する目標

小項目番号	小項目1(30)	小項目	【産業界、自治体等との連携】産業界や自治体等と連携・協力し、地域社会の発展に貢献する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
下記以外の中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。
計画1-2 (30－2)	地域連携推進機構において、3キャンパスが協力して地域貢献を総合的に取り組める体制を整備する。		平成20年7月に地域連携に携わってきた知的財産本部及び地域連携推進機構の各部門に関連する5つのセンターをすべてを廃止し、その機能を正規に設置した地域連携推進機構の4部門が引き継ぐ形で再編・改組した。 このことにより、これまでセンターが各々の運営委員会等により運営していた体制を改め、同機構の運営企画会議により運営は一本化され、各部門が緊密かつ有機的に連携できる体制が構築された。(別添資料8、P8参照) これを機に、機構全体のイベントとして「コラボフェスタ2009」が開催されるなど、部門間の協働が始まった。 また、平成20年度から、同機構において実施している地域再生塾「高度差4000」(富山の豊かな自然環境を守り、活用して地域再生を行える人材を育成する事業)には、同機構の教員をはじめ、理学部、人文学部、人間発達科学部、芸術文化学部等の教員、自治体、金融機関等外部の組織も加わり、一体となって実施している。このことにより、全学協働、地域協働の輪が構築された。

小項目番号	小項目2(31)	小項目	【地域医療機関、福祉施設との連携】各種の医療機関や福祉施設と連携・協力して地域社会に貢献する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目3(32)	小項目	【地域・社会への貢献】地域・社会への知的サービス、施設開放サービスを充実し、地域の生涯学習等に貢献する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目４(33)	小項目	【地域教育機関等との連携・交流】地域の教育機関等と連携し、教育研究の交流を推進する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

小項目番号	小項目５(34)	小項目	【国際交流・国際貢献】外国人留学生の受入れ、海外の大学等との教育研究交流により、国際貢献を推進する。
計画番号	中期計画		平成20年度及び21年度における実施状況
全中期計画			平成19年度までの取組等を引き続き継続的に実施している。

Ⅱ.「改善を要する点」についての改善状況

改善を要する点	改 善 状 況
【教育】 中期計画「大学全体のアドミッション・ポリシーを確立し、それに応じて各学部のアドミッション・ポリシーを見直す」について、大学全体のアドミッション・ポリシーの確立がいまだなされていないことは、各学部の現在のアドミッション・ポリシーが暫定的なものと考えられることから、改善することが望まれる。	平成21年3月までに、大学全体のアドミッション・ポリシーを確立して、それに応じて各学部においてアドミッション・ポリシーを見直し、平成22年度版「入学者選抜要項」、「学生募集要項」及び「2010　富山大学案内」に掲載するとともに富山大学Webサイト(入試情報)で公表した。(別添資料1、P1参照)
【教育】 中期計画「教養教育の企画・立案・評価を担当し、実施の指揮にあたる組織の充実を図る」について、教養教育の充実のための検討が開始されているが、共通教育統合の基本方針の決定にとどまっており、組織・体制の整備・充実が十分に進捗しているとはいえないことから、改善することが望まれる。	平成20年度:「本学の教育全般に関し全学的な調整」と「大学教育における体系的な教育課程の編成及び大学教育の推進」のために高等教育機構を設置した。併せてその下に「全学の共通教育(教養教育科目等の共通で行うべき教育)の実施体制の確立」を業務とする共通教育センターを設置し、共通教育の一元化に向けカリキュラムや実施組織について検討した。 平成21年度:高等教育機構会議の下に時限的に共通教育検討専門委員会を設置し、上記の検討結果を検証して、平成24年度を目処に一元化に取り組むこととし、芸術文化学部で上記検討結果を踏まえ先行して平成22年度に新カリキュラムに移行するのに併せて、3キャンパスの教員が相互に協力して教養教育科目を充実させる体制を整備した(別添資料2、P2参照)。更に教育担当理事の下に年度内に集中的に作業すべく教養教育改革室を設けて、共通教育の一元化のための準備の一環として、現行のカリキュラムと実施体制の検証に取り組み、平成22年度に必要な新たな検討体制を構想した。